

第2号

発行日 平成27年3月1日

NPO法人白河市体育協会広報創刊号

発行責任者 会長 櫻井和朋

事務局住所 白河市北中川原56

電話番号 29-8655

印刷所 尚ワタベ印刷所

笑顔
しらかわ



スポーツを通じて心身の健全な育成と

明るいまちづくりを推進しよう

2020年の東京オリンピックを目指して 白河の地より世界へ飛び立とう！！

平成26年度
NPO法人白河市体育協会表彰式
NPO法人白河市体育協会 会長 櫻井 和朋



昭和40年（1965）に始まった市体協表彰式は、今年度で49回目を迎え、1月20日文化センターで、白河市長、市議会議長はじめ、多数のご来賓のご臨席を仰ぎ開催いたしました。

今回の表彰で最高の栄誉である「体育功労賞」は、荒井廣行（山岳会）相川勇治（スキー）星 正則（野球）宗像マキ子（家庭バレーボール）の四名の方に贈られました。皆様永年にわたる献身的なご尽力、輝かしい功績に、感謝と敬意を申し上げます。

次いで、優秀指導者賞6名、特別賞（全国大会三位以上）3件、優秀選手賞（県大会優勝）59名、優秀団体賞（県大会優勝）12団体、感謝状2名、計86枚の表彰状が手渡されました。受賞者の皆様誠におめでとうございます。

さて、今回の表彰におきまして、特筆すべき点を三点ほど挙げさせていただきます。

第一点は、特別賞の「ダンロップ・ソフトテニス部」の第18回アジアカップひろしま国際大会準優勝、第41回東北総体優勝という好成績です。会社の理解、指導者の情熱、選手の努力が、一貫となって、全ての大会に於いて、安定した成績を残していることに、惜しみない賛

辞を送りたいと思います。

第二点は、優秀選手賞に59名という、過去最高の人数が該当したという事です。（昨年、一昨年の2倍以上）内、47名が若い生徒、児童の方々に、指導に当たられた各学校の校長先生はじめ先生方、又、スポーツ教室等の指導者の方にお礼とお祝いを申し上げます。

第三点は、感謝状のお二人です。宍戸初子様は、若い時から92歳という現在まで、市体育館でお元気に休みなく体操教室を指導され、高橋吉郎様もまた、三十年以上にわたり、毎年継続して現在もトランポリン教室の指導に当たっておられます。心から敬服いたしますと同時に、私達も模範として見習っていききたいと思います。

むすびに、今年度、県内初のNPO法人として新しい出発をした白河市体協は、初心を忘れず、理想を高く掲げ、一步一步「笑顔」で前進して行きたいと思っています。関係皆様のご指導ご協力よろしく願いいたします。

スポーツを通じて心身の健全な育成と明るいまちづくりを推進しよう

NPO法人白河市体育協会表彰者に対するお祝いのことば

白河市教育委員会
教育長 伊藤 渉



この度、白河市体育協会がNPO法人となって初めての表彰式が開催されますこと、誠におめでとうございます。また、貴協会におかれましては昭和35年の創立以来、長きにわたり本市のスポーツ文化の振興にご尽力を賜り、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

受賞されました皆様は、白河市のスポーツ界において輝かしい功績を残された方々や、全国大会などで優秀な成績をあげられた方々と聞いております。皆様の姿は、スポーツに情熱を燃やす方々の模範となり、本市におけるスポーツ振興に大きく寄与しているものと存じます。

2020年の東京オリンピック開催に向けて、スポーツに対する関心が非常に高まっております。本市においても貴協会と連携を図りながら、活力に満ち市民が元気に過ごせるまちづくりを推進してまいりますので、より一層のご尽力とご協力をお願いいたします。

結びに、貴協会の発展と受賞者のご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

NPO法人白河市体育協会感謝状を受賞して

感謝状受賞者
穴戸 初子

昭和55年4月発足、骨格筋力脳を学び万年青年でと万年青（おもと）と命名。職を持つ人の為、夜の活動とする。平均年齢59歳、役員決定、会長を早津健治、指導者を穴戸初子、2時間なので講義30分。会員増で、日中と夜に分け、秋桜を作る。目的は、対外試合を無、健康保持に重点を置く。これが平成16年4月住友生命健康財団より受賞、賞金10万円とマット2枚を頂く、オープンハウス（障害施設）に子供達の体位向上にと、会長と共に行き贈呈しました。

会員には、プリントを配り学んだことを記録として残す。現在1,000枚増となる。第一は、正しい姿で歩くことです（現在も新会員の第一歩の学習）。会員も高齢者増加、身近な健康管理に重点を置く。講義のみ聞く人も多くなり、プリント作成に苦しむことが多くなったが、市外からの参加者の増加に感謝しています。

体を動かして脳の老化を防ぐため努力しようね！ 脳の老化は早く

*歩く。前進。後進。ジョギング。

ゆっくり小股に。

*踏台昇降 30回

*踏台で股関節 10回

*足振りあげ、背筋のばし 5回

*四頭筋強化「人体と筋」

*リズム、順序を覚えよう

*種目の順序は各自、自由

1. 脳の衰えは、リズムに現れる。

早い、遅い感覚が衰える。

2. 方向を変える感覚が衰える

3. 一連の連続運動を思い出せなくなる

「海馬が痩せる」

4. 老化のストップとは＝脳に刺激を与えること。

出来なくとも肉体運動の努力が脳の老化を防ぐ

「記憶力の訓練」



2020年東京オリンピックを目指そう！！

平成26年度NPO法人白河市体育協会表彰式が開催され受賞者を代表して体育功労賞を受賞した白河山岳会の荒井廣行氏があいさつを述べました。

また、体育功労賞及び優秀指導者賞の受賞者10名より、白河市スポーツ振興基金へ寄付金が贈呈されました。

※受賞者一覧（敬称は略させていただきます）

《体育功労賞》 荒井廣行(山岳)・相川勇治(スキー)・星 正則(野球)・宗像マキ子(家庭バレー)

《優秀指導者賞》 岡本賢二(ゲートボール)・藤田まさ江(山岳)・上橋安子(山岳)

室井摩矢子(スキー)・今井友子(家庭バレー)・原田知幸(剣道)

《特別賞》 ダンロップチーム(ソフトテニス)・根本久美子(弓道)・松本道郎(自転車)

《優秀選手賞》 菊地隆一(ゴルフ)・石井 誠(自転車)・石井正男(バドミントン)

中根好美(バドミントン)・権藤理咲(ソフトテニス)・松岡弘美(ソフトテニス)

宮川真紀(ソフトテニス)・山田佳奈(ソフトテニス)・安藤未希(ソフトテニス)

原野亜衣(ソフトテニス)・米山芽玖(ソフトテニス)・小谷菜津美(ソフトテニス)

高田 静(バスケット)・郷 勇介(ソフトテニス)・木村友次(ソフトテニス)

穂積優人(ソフトテニス)・小磯太一(自転車)・渡辺将太(自転車)・小澤尚斗(自転車)

鈴木涼介(自転車)・天野美穂(陸上)・小松力歩(陸上)・遠藤 桐(バスケット)

富永亜実(ゴルフ)・田辺笑可(ソフトボール)・石井 潤(陸上)・佐々木綾(陸上)

石井洋輝(自転車)・深谷大輔(バレーボール)・佐藤駿斗(バレーボール)

上村優太(バレーボール)・三森悠叶(バレーボール)・鈴木英生(バレーボール)

鈴木拓央(バレーボール)・小笠航大(テニス)・青砥夕大(テニス)・鈴木 翔(陸上)

飯村聖哉(陸上)・室井麻佑(アーチェリー)・影山未歩(水泳)・佐々木謙(テニス)

井谷 颯(テニス)・伊澤泰壮(テニス)・萩川菜那(陸上)・関根楓音(陸上)

石田唯奈(少林寺拳法)・平野楓夏(少林寺拳法)・田村和貴(少林寺拳法)

田村健登(少林寺拳法)・会田柊斗(少林寺拳法)・鈴木魁人(少林寺拳法)

深谷真太郎(少林寺拳法)・渡邊和瑞(少林寺拳法)・渡部 峻(少林寺拳法)

齋藤 楓(少林寺拳法)・鈴木そら(ソフトテニス)・室井悠里(アーチェリー)

大倉丞太郎(ソフトテニス)・増子朝飛(ソフトテニス)

《優秀団体賞》 全白河野球クラブ・日本工機(株)野球部・白河信用金庫野球部・ブルーソックス

白河弓道会女子部・白河実業高等学校自転車部・白河高等学校女子剣道部

白河高等学校弓道部・白河中央中学校女子バスケットボール部

白河第二小学校男子リレーチーム・少林寺拳法白河東スポーツ少年団

信夫第一スポーツ少年団

《感謝状》 宍戸初子(旧体育指導員)・高橋吉郎(トランポリン)



スポーツを通じて心身の健全な育成と明るいまちづくりを推進しよう

功労賞を受賞して

白河市家庭バレーボール協会理事長

NPO法人白河市体育協会理事 宗像マキ子



NPO法人となりました年に功労賞という名誉な受賞に榮を浴し、身に余る光榮に存じます。厚く御礼申し上げます。

関係機関の皆様、家庭バレーボール協会の芝澤会長をはじめ、役員仲間や会員の方々のご指導、ご支援のおかげと、また理解ある家族の協力のおかげと深く感謝申し上げます。

これまでのバレーボール人生を振り返ると、楽しいことばかり思い出されますが、今まで続けてきて、素晴らしい仲間に出会えたことは、なによりの宝物です。本当に感謝の思いでいっぱいです。

これからも生涯スポーツとして仲間と一緒に、体力の続く限りスポーツを楽しみ、家庭婦人のより一層の多くの人達の参加を推進していきたいと、当協会、貴協会に貢献していきたいと考えております。

この度はありがとうございました。

最後に貴協会のますますの発展をご祈念申し上げます。

受賞者の声(第22回FIBA U-18女子バスケットボールアジア選手権に出場して)

山形市立商業高等学校(中央中卒業)

U-18日本代表 高田 静

私は18歳以下女子バスケットボール日本代表に選出され、2014年10月10日から17日にヨルダンで開催されたアジア選手権大会出しました。結果は決勝で中国に負けてしまい準優勝でした。

日本代表に選出されたのは初めてでしたが、気後れすることなくプレーし、自分の持ち味を発揮することができ、全ての試合をスターティングメンバーとして出場することができました。大会では、自分の課題も明確となり、とても良い経験をすることができました。

今の私がいるのは、指導者の方々、家族、チームメイトのおかげです。

これからも、周りへの感謝の気持ちを忘れず、向上心を持ち続け頑張っていきます。



受賞者の声 第18回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会 準優勝！！
ダンロップ白河工場女子ソフトテニスチーム

<1. チーム紹介>

	氏名	出身	ポジション
*主将	大槻 桜	福島県西郷村	後衛
	安藤 未希	宮城県仙台市	〃
	原野 亜衣	茨城県龍ヶ崎	〃
	米山 芽玖	神奈川県小田原市	前衛
	小谷菜津美	岡山県倉敷市	後衛



<2. 平成26年度 競技実績>

	入賞者/種目	大会名	順位	開催月
団体	チームダンロップ	第18回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会	準優勝	3月
	〃	第29回ミニミニカップ全日本女子団体選抜ソフトテニス大会	第4位	2月
	〃	第32回日本リーグ	第5位	12月
個人	小谷/ダブルス	第13回チャイナカップ国際ソフトテニス大会	優勝	6月
	原野/シングルス	第59回全日本女子選抜ソフトテニス大会	準優勝	4月
	小谷/シングルス	第21回全日本シングルスソフトテニス選手権大会		5月
		第13回チャイナカップ国際ソフトテニス大会		6月
	原野/シングルス	第2回世界ジュニアソフトテニス選手権大会	第3位	11月
	原野/ダブルス			

●平成27年度 全日本チームメンバー

*ナショナルチーム …… 原野、小谷

*U-20チーム …… 米山

※これは「世界で活躍するトップレベル競技者の育成」を目的に、文部科学省および（公財）日本オリンピック委員会より選出されるものです。

<3. 今年度の競技生活を振り返って>

日頃より住友ゴム工業(株)女子ソフトテニス「チームダンロップ」を応援頂きありがとうございます。「チームダンロップ」は2009年4月に発足し、白河工場を拠点に、競技として試合に出場することと併せて、地域の方々にソフトテニスの楽しさを知って頂く活動等に取り組んで参りました。

現在、メンバーは5名ですが、4月には新入部員が加わり8名体制となる予定です。



皆様の応援のお陰で日本リーグで5位になる等、各大会で上位入賞を果たし、NPO法人白河市体育協会表彰式では特別賞と優秀選手賞を頂きました。

「明るく元気に」をモットーに昨年以上の成績を取られるよう活動して参りますので、変わらぬ応援のほどお願い致します。